

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限
投資対象	「しんきん世界好配当利回り株マザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます。)の受益証券を主要投資対象とします。 なお、株式等に直接投資することがあります。
運用方針	①マザーファンドの受益証券への投資を通じて、日本を除く世界各国の株式に投資することにより、安定した配当収益の獲得と投資信託財産の成長を目標とします。 ②マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。 ③外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ④株式の実質組入比率は、原則として高位を保ちます。 ⑤資金動向および市況動向等に急激な変化が生じたとき等やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができないことがあります。
主な投資制限	①株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
収益分配方針	①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益も含まれます。)等とします。 ②分配金は、配当等収益を中心に安定した収益分配を行うことを目指し、委託者が基準価額等を勘案して決定します。

運用報告書(全体版)

しんきん 世界好配当利回り株ファンド (毎月決算型)

第155期(決算日:2018年12月10日)
第156期(決算日:2019年1月10日)
第157期(決算日:2019年2月12日)
第158期(決算日:2019年3月11日)
第159期(決算日:2019年4月10日)
第160期(決算日:2019年5月10日)


受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)」は2019年5月10日に第160期の決算を行いました。

ここに、第155期から第160期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 しんきんアセットマネジメント投信株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<http://www.skam.co.jp>

■運用報告書に関しては、下記にお問い合わせください。

しんきんアセットマネジメント投信株式会社
＜コールセンター＞ ☎ 0120-781812
(土日、休日を除く) 携帯電話・PHSからは03-5524-8181
9:00~17:00

本資料は投資信託の運用状況を開示するためのものであり、ファンドの勧誘を目的とするものではありません。

目 次

◇しんきん世界好配当利回り株ファンド（毎月決算型）	頁
最近30期の運用実績	1
当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
当作成期中（第155期～第160期）の運用経過等	3
1万口当たりの費用明細	8
売買及び取引の状況	9
株式売買比率	9
利害関係人との取引状況等	9
第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況	9
自社による当ファンドの設定・解約状況	10
組入資産の明細	10
投資信託財産の構成	10
資産、負債、元本及び基準価額の状況	11
損益の状況	12
分配金のお知らせ	13
◇親投資信託の運用報告書	
しんきん世界好配当利回り株マザーファンド	14

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			参考指標※		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
		税込み	み	期	期	中			
	円	分	金	騰	騰	率			百万円
		配	騰	落	落	%			
131期(2016年12月12日)	6,468		50	15.4	19,652	12.4	90.2	—	6,875
132期(2017年1月10日)	6,400		50	△ 0.3	19,912	1.3	95.7	—	6,602
133期(2017年2月10日)	6,347		50	△ 0.0	20,007	0.5	93.9	—	6,524
134期(2017年3月10日)	6,366		50	1.1	20,683	3.4	94.7	—	6,627
135期(2017年4月10日)	6,144		50	△ 2.7	20,084	△ 2.9	94.5	—	6,498
136期(2017年5月10日)	6,499		50	6.6	21,215	5.6	95.4	—	6,929
137期(2017年6月12日)	6,239		50	△ 3.2	20,702	△ 2.4	91.0	—	6,786
138期(2017年7月10日)	6,461		50	4.4	21,591	4.3	94.4	—	7,245
139期(2017年8月10日)	6,362		50	△ 0.8	20,908	△ 3.2	91.0	—	7,472
140期(2017年9月11日)	6,191		50	△ 1.9	21,349	2.1	94.7	—	7,512
141期(2017年10月10日)	6,660		50	8.4	22,430	5.1	74.2	—	8,413
142期(2017年11月10日)	6,661		50	0.8	22,831	1.8	91.6	—	8,594
143期(2017年12月11日)	6,861		50	3.8	23,387	2.4	93.1	—	9,393
144期(2018年1月10日)	6,976		50	2.4	23,842	1.9	93.6	—	10,178
145期(2018年2月13日)	6,475		50	△ 6.5	22,220	△ 6.8	92.1	—	10,003
146期(2018年3月12日)	6,527		50	1.6	22,891	3.0	96.2	—	10,363
147期(2018年4月10日)	6,367		50	△ 1.7	22,363	△ 2.3	93.7	—	10,550
148期(2018年5月10日)	6,789		50	7.4	23,339	4.4	79.4	—	11,517
149期(2018年6月11日)	6,699		50	△ 0.6	23,733	1.7	89.0	—	12,028
150期(2018年7月10日)	6,698		50	0.7	24,063	1.4	95.0	—	12,746
151期(2018年8月10日)	6,518		50	△ 1.9	24,021	△ 0.2	94.4	—	13,061
152期(2018年9月10日)	6,294		50	△ 2.7	24,238	0.9	89.5	—	13,141
153期(2018年10月10日)	6,426		50	2.9	23,879	△ 1.5	94.8	—	14,028
154期(2018年11月12日)	6,215		50	△ 2.5	23,514	△ 1.5	95.3	—	13,966
155期(2018年12月10日)	5,663		50	△ 8.1	22,532	△ 4.2	93.7	—	13,023
156期(2019年1月10日)	5,520		50	△ 1.6	21,672	△ 3.8	94.5	—	13,003
157期(2019年2月12日)	5,731		50	4.7	23,226	7.2	94.3	—	13,673
158期(2019年3月11日)	5,767		50	1.5	23,809	2.5	95.8	—	13,881
159期(2019年4月10日)	5,948		50	4.0	24,682	3.7	93.4	—	14,442
160期(2019年5月10日)	5,664		50	△ 3.9	24,244	△ 1.8	92.5	—	13,845

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 株式先物比率＝買建比率－売建比率。

※参考指標はMSCI-KOKUSAI インデックス（除く日本・米ドルベース）を円換算し、2005年11月14日を10,000としてしんきんアセットマネジメント投信が算出したものです。（以下同じ。）

※ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性および完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。

※この情報はMSCIの営業秘密であり、またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		参考指標		株式組入比率	株式先物比率
		円	騰落率	ポイント	騰落率		
第155期	(期首) 2018年11月12日	6,215	—	23,514	—	95.3	—
	11月末	6,012	△3.3	23,671	0.7	90.7	—
	(期末) 2018年12月10日	5,713	△8.1	22,532	△4.2	93.7	—
第156期	(期首) 2018年12月10日	5,663	—	22,532	—	93.7	—
	12月末	5,438	△4.0	21,107	△6.3	94.0	—
	(期末) 2019年1月10日	5,570	△1.6	21,672	△3.8	94.5	—
第157期	(期首) 2019年1月10日	5,520	—	21,672	—	94.5	—
	1月末	5,767	4.5	22,624	4.4	93.9	—
	(期末) 2019年2月12日	5,781	4.7	23,226	7.2	94.3	—
第158期	(期首) 2019年2月12日	5,731	—	23,226	—	94.3	—
	2月末	5,976	4.3	23,915	3.0	93.8	—
	(期末) 2019年3月11日	5,817	1.5	23,809	2.5	95.8	—
第159期	(期首) 2019年3月11日	5,767	—	23,809	—	95.8	—
	3月末	5,810	0.7	24,121	1.3	94.8	—
	(期末) 2019年4月10日	5,998	4.0	24,682	3.7	93.4	—
第160期	(期首) 2019年4月10日	5,948	—	24,682	—	93.4	—
	4月末	5,931	△0.3	25,168	2.0	93.2	—
	(期末) 2019年5月10日	5,714	△3.9	24,244	△1.8	92.5	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

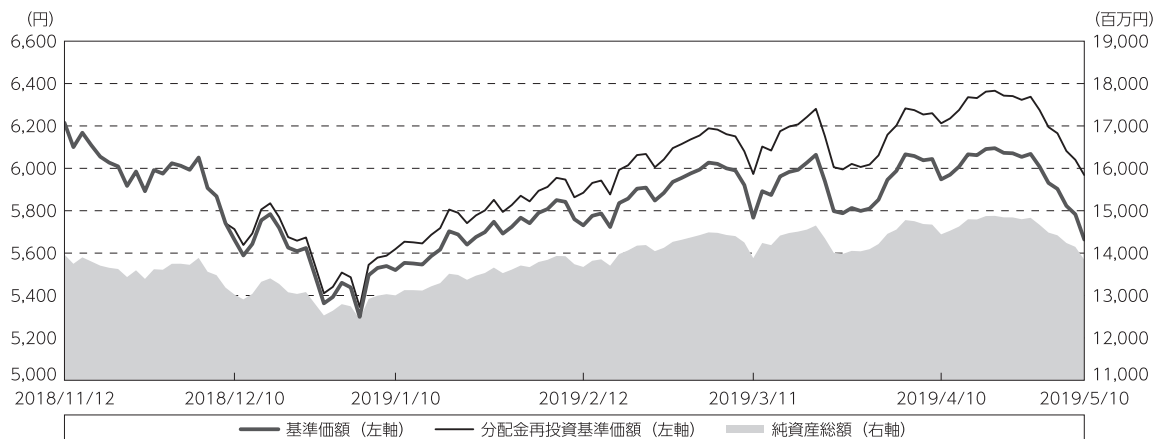
(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 株式先物比率＝買建比率－売建比率。

○当作成期中（第155期～第160期）の運用経過等（2018年11月13日～2019年5月10日）

<当作成期中の基準価額等の推移>



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2018年11月12日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

<基準価額の主な変動要因>

当ファンドは、親投資信託である「しんきん世界好配当利回り株マザーファンド」を通じて、世界の先進国・地域(日本を除く)の株式に投資することにより、安定した配当収益の獲得と投資信託財産の成長を目指して運用を行っています。

当作成期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

<上昇要因>

- ・米国をはじめとした経済指標や企業業績が底堅かったこと。
- ・米連邦準備制度理事会(FRB)が、利上げ予想回数を引き下げたこと。
- ・欧州中央銀行(ECB)が、金融政策で引締めの方針から転換したこと。

<下落要因>

- ・世界的な経済減速に対する懸念が強まったこと。
- ・米中貿易摩擦の懸念が強まったこと。
- ・英国の欧州連合(EU)離脱問題の先行き不透明感が強まったこと。

＜投資環境＞

(2018年11月～12月)

グローバル株式市場は下落しました。世界的な貿易摩擦や経済減速に対する懸念が強まったことが主な要因となりました。

市場別に見ると、米国株式市場は下落しました。景気回復と企業業績拡大がどちらも鈍化するとの観測が高まったことが、主なマイナス要因となりました。ユーロ圏株式市場は下落しました。ECBが、予定どおりに、量的金融緩和策の債券購入プログラムを年内に終了することを正式に決定したことなどが材料視されました。

(2019年1月～3月)

グローバル株式市場は上昇しました。米中貿易摩擦問題に対する懸念が後退したことや、主要中央銀行が金融政策を緩和的な方針へと転換したことが支援材料となりました。

市場別に見ると、米国株式市場は上昇しました。FRBが、声明でハト派的な姿勢を強めたことや、米中貿易協議に進展が見られたこと、また、閉鎖されていた政府機関についても再開したことなどが株価の押し上げ要因となりました。ユーロ圏株式市場は上昇しました。中央銀行が金融政策で引締めの方針から転換したことが支援材料となりました。

(2019年4月～5月)

グローバル株式市場は上昇しました。4月は、米中の経済指標の改善を受けて世界経済の減速懸念が後退したことや、米中貿易協議の合意期待などから、堅調な動きとなりました。5月は、米中貿易協議について、米国による中国への追加関税の発動など警戒感が広がる中、軟調な動きとなりました。

市場別に見ると、米国株式市場は上昇しました。堅調な経済指標や企業の好調な業績が上昇要因となりました。ユーロ圏株式市場は上昇しました。経済が予想より回復していることなどから上昇しました。



＜当ファンドのポートフォリオ＞

親投資信託である「しんきん世界好配当利回り株マザーファンド」の受益証券への投資を行い、当作成期を通じて組入比率が高位となるように調整しました。

●しんきん世界好配当利回り株マザーファンド

設定・解約および個別銘柄の収益見通し、配当方針、株主への利益還元などの要素に加え、株価の割安度合いなどに対する判断結果から、必要に応じて銘柄の加除および入替え等を行った結果、組入銘柄数は当作成期首の35銘柄に対し、当作成期末時点では変わらずの35銘柄になりました。

＜業種構成＞

参考指標対比で見た業種別の当作成期中平均組入比率は、次の表のとおりです。

業種	ポートフォリオ	参考指標	差異
エネルギー	8.2%	6.5%	1.7%
素材	10.6%	4.5%	6.1%
資本財・サービス	0.2%	10.2%	△10.0%
一般消費財・サービス	1.8%	9.7%	△ 7.9%
生活必需品	7.3%	8.5%	△ 1.2%
ヘルスケア	6.1%	13.3%	△ 7.2%
金融	37.1%	16.6%	20.6%
不動産	0.0%	3.1%	△ 3.1%
情報技術	12.9%	15.8%	△ 3.0%
コミュニケーション・サービス	11.2%	8.3%	2.8%
公益事業	4.7%	3.5%	1.2%

※比率は株式部分のみを計算。計算にはBloombergを使用。

当作成期を平均すると「金融」、「素材」などの業種を参考指標と比較して高位に組み入れ、「一般消費財・サービス」、「資本財・サービス」などの業種を低位に組み入れました。

「金融」、「素材」のオーバーウェイトが、ポートフォリオ（米ドルベース）の騰落率に対して主なプラス要因になり、「公益事業」のオーバーウェイトや「情報技術」のアンダーウェイトが、主なマイナス要因になりました。

<国別構成>

参考指標対比で見た国別の当作成期中平均組入比率は、次の表のとおりです。

地 域	国 名	ポートフォリオ	参 考 指 標	差 異
北米地域	カナダ	0.1%	3.8%	△ 3.7%
	アメリカ	24.6%	67.8%	△43.2%
欧州地域	オーストリア	0.0%	0.1%	△ 0.1%
	ベルギー	4.1%	0.4%	3.7%
	デンマーク	0.0%	0.7%	△ 0.7%
	フィンランド	0.0%	0.4%	△ 0.4%
	フランス	11.1%	4.2%	6.9%
	ドイツ	0.3%	3.3%	△ 3.0%
	アイルランド	0.0%	0.2%	△ 0.2%
	イタリア	9.2%	0.9%	8.3%
	オランダ	1.2%	1.3%	△ 0.1%
	ノルウェー	0.0%	0.3%	△ 0.3%
	ポルトガル	0.0%	0.1%	△ 0.1%
	スペイン	3.3%	1.2%	2.2%
	スウェーデン	0.0%	1.0%	△ 1.0%
	スイス	0.0%	3.3%	△ 3.3%
	イスラエル	0.0%	0.2%	△ 0.2%
イギリス	41.0%	6.4%	34.6%	
アジア・パシフィック地域	オーストラリア	5.2%	2.6%	2.6%
	香港	0.0%	1.5%	△ 1.5%
	ニュージーランド	0.0%	0.1%	△ 0.1%
	シンガポール	0.0%	0.5%	△ 0.5%

※比率は株式部分のみを計算。計算にはBloombergを使用。

当作成期を平均すると、「イギリス」、「イタリア」などの国を参考指標と比較して高位に組み入れ、「アメリカ」、「カナダ」などの国を低位に組み入れました。

「ベルギー」のオーバーウェイトが、ポートフォリオ(米ドルベース)の騰落率に対し主なプラス要因になったほか、「アメリカ」のアンダーウェイトと「オーストラリア」のオーバーウェイトが、主なマイナス要因になりました。

<当ファンドのベンチマークとの差異>

当ファンドは、世界の先進国・地域（日本を除く）の株式に投資することにより、安定した配当収益の獲得と投資信託財産の成長を目指していますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークはありません。

当作成期の基準価額の騰落率（分配金再投資後）は△4.0%となり、同期間の参考指標の騰落率+3.1%を7.1ポイント下回りました。

<分配金>

収益分配金については、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益、売買益および基準価額等を勘案して、当作成期においては、1万口当たり各50円（税込み）、合計300円（税込み）としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し運用の基本方針に基づき運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第155期	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期
	2018年11月13日～ 2018年12月10日	2018年12月11日～ 2019年1月10日	2019年1月11日～ 2019年2月12日	2019年2月13日～ 2019年3月11日	2019年3月12日～ 2019年4月10日	2019年4月11日～ 2019年5月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	50 0.875%	50 0.898%	50 0.865%	50 0.860%	50 0.834%	50 0.875%
当期の収益	—	—	8	19	21	36
当期の収益以外	50	50	42	30	29	13
翌期繰越分配対象額	1,770	1,720	1,678	1,648	1,620	1,607

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<今後の運用方針>

引き続き、運用の基本方針に従い、主として親投資信託である「しんきん世界好配当利回り株マザーファンド」の受益証券への投資を行い、安定した配当収益の獲得と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

●しんきん世界好配当利回り株マザーファンド

引き続き、経営力に秀で、質の高い、収益見通しのより明瞭な銘柄の発掘に注力し、特に明確な配当方針を持つ企業や、株主への利益還元真剣に取り組む姿勢を明らかにしている企業を選好して投資するとともに、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

また、株式組入比率は、原則として高位を保つこととし、銘柄の入替え、追加等が必要な場合は随時行っていきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年11月13日～2019年5月10日)

項 目	第155期～第160期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 43	% 0.741	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(25)	(0.424)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(15)	(0.265)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.053)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.007	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(0)	(0.007)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	3	0.056	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(3)	(0.056)	
(d) そ の 他 費 用	1	0.018	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	47	0.822	
作成期間の平均基準価額は、5,822円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2018年11月13日～2019年5月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第155期～第160期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
しんきん世界好配当利回り株マザーファンド	千口 238,986	千円 517,000	千口 48,237	千円 110,000

(注) 単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2018年11月13日～2019年5月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第155期～第160期
	しんきん世界好配当利回り株マザーファンド
(a) 当作成期中の株式売買金額	5,263,662千円
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	16,412,888千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.32

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年11月13日～2019年5月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2018年11月13日～2019年5月10日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2018年11月13日～2019年5月10日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2019年5月10日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第154期末	第160期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
しんきん世界好配当利回り株マザーファンド		6,045,303	6,236,052	13,829,694

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2019年5月10日現在)

項	目	第160期末	
		評価額	比率
		千円	%
しんきん世界好配当利回り株マザーファンド		13,829,694	98.8
コール・ローン等、その他		172,910	1.2
投資信託財産総額		14,002,604	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) しんきん世界好配当利回り株マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（19,559,830千円）の投資信託財産総額（19,918,226千円）に対する比率は98.2%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価を我が国の対顧客電信売相場場の仲値により邦貨換算したものです。2019年5月10日現在、1ドル=109.86円、1ユーロ=123.27円、1ポンド=142.83円、1オーストラリアドル=76.88円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第155期末	第156期末	第157期末	第158期末	第159期末	第160期末
	2018年12月10日現在	2019年1月10日現在	2019年2月12日現在	2019年3月11日現在	2019年4月10日現在	2019年5月10日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	13,168,704,933	13,143,135,018	13,826,722,890	14,035,925,177	14,622,222,955	14,002,604,740
コール・ローン等	221,062,101	226,538,206	212,012,656	181,472,730	188,285,303	172,910,098
しんきん世界好配当利回り株マザーファンド(詳価額)	12,947,642,832	12,916,596,812	13,614,710,234	13,854,452,447	14,433,937,652	13,829,694,642
(B) 負債	145,054,822	139,777,370	153,535,741	154,732,362	180,141,002	157,292,108
未払収益分配金	114,995,166	117,778,603	119,293,053	120,357,146	121,404,441	122,216,136
未払解約金	14,220,758	5,408,796	15,764,499	18,528,163	40,876,816	16,951,465
未払信託報酬	15,801,286	16,555,185	18,443,207	15,819,747	17,827,559	18,094,389
未払利息	583	517	546	211	490	426
その他未払費用	37,029	34,269	34,436	27,095	31,696	29,692
(C) 純資産総額(A-B)	13,023,650,111	13,003,357,648	13,673,187,149	13,881,192,815	14,442,081,953	13,845,312,632
元本	22,999,033,337	23,555,720,722	23,858,610,790	24,071,429,243	24,280,888,384	24,443,227,232
次期繰越損益金	△ 9,975,383,226	△10,552,363,074	△10,185,423,641	△10,190,236,428	△ 9,838,806,431	△10,597,914,600
(D) 受益権総口数	22,999,033,337口	23,555,720,722口	23,858,610,790口	24,071,429,243口	24,280,888,384口	24,443,227,232口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,663円	5,520円	5,731円	5,767円	5,948円	5,664円

(注1) 当ファンドの第155期首元本額は22,471,107,451円、当作成期中(第155期～第160期)における追加設定元本額は3,338,650,940円、同一部解約元本額は1,366,531,159円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第155期0.5663円、第156期0.5520円、第157期0.5731円、第158期0.5767円、第159期0.5948円、第160期0.5664円です。

○損益の状況

項 目	第155期	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期
	2018年11月13日～ 2018年12月10日	2018年12月11日～ 2019年1月10日	2019年1月11日～ 2019年2月12日	2019年2月13日～ 2019年3月11日	2019年3月12日～ 2019年4月10日	2019年4月11日～ 2019年5月10日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 7,456	△ 8,127	△ 9,725	△ 5,923	△ 7,078	△ 8,421
支払利息	△ 7,456	△ 8,127	△ 9,725	△ 5,923	△ 7,078	△ 8,421
(B) 有価証券売買損益	△ 1,127,926,736	△ 193,732,211	632,850,272	216,113,380	572,220,343	△ 555,905,857
売買益	2,822,019	2,267,190	636,113,279	219,766,141	579,484,935	487,065
売買損	△ 1,130,748,755	△ 195,999,401	△ 3,263,007	△ 3,652,761	△ 7,264,592	△ 556,392,922
(C) 信託報酬等	△ 15,834,643	△ 16,589,134	△ 18,475,999	△ 15,846,842	△ 17,859,255	△ 18,123,241
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 1,143,768,835	△ 210,329,472	614,364,548	200,260,615	554,354,010	△ 574,037,519
(E) 前期繰越損益金	△ 726,336,653	△ 1,858,523,137	△ 2,055,093,734	△ 1,444,987,745	△ 1,271,330,700	△ 758,445,311
(F) 追加信託差損益金	△ 7,990,282,572	△ 8,365,731,862	△ 8,625,401,402	△ 8,825,152,152	△ 9,000,425,300	△ 9,143,215,634
(配当等相当額)	(4,186,177,520)	(4,169,792,111)	(4,104,236,050)	(4,039,886,748)	(4,002,624,568)	(3,959,194,442)
(売買損益相当額)	(△12,176,460,092)	(△12,535,523,973)	(△12,729,637,452)	(△12,865,038,900)	(△13,003,049,868)	(△13,102,410,076)
(G) 計 (D + E + F)	△ 9,860,388,060	△10,434,584,471	△10,066,130,588	△10,069,879,282	△ 9,717,401,990	△10,475,698,464
(H) 収益分配金	△ 114,995,166	△ 117,778,603	△ 119,293,053	△ 120,357,146	△ 121,404,441	△ 122,216,136
次期繰越損益金 (G + H)	△ 9,975,383,226	△10,552,363,074	△10,185,423,641	△10,190,236,428	△ 9,838,806,431	△10,597,914,600
追加信託差損益金	△ 8,105,277,738	△ 8,483,510,465	△ 8,725,607,567	△ 8,897,366,440	△ 9,070,839,876	△ 9,174,991,830
(配当等相当額)	(4,071,225,601)	(4,052,117,133)	(4,004,142,435)	(3,968,095,886)	(3,932,855,695)	(3,927,958,244)
(売買損益相当額)	(△12,176,503,339)	(△12,535,627,598)	(△12,729,750,002)	(△12,865,462,326)	(△13,003,695,571)	(△13,102,950,074)
分配準備積立金	606,049	748,587	1,411,852	6,283	2,260,639	2,261,380
繰越損益金	△ 1,870,711,537	△ 2,069,601,196	△ 1,461,227,926	△ 1,292,876,271	△ 770,227,194	△ 1,425,184,150

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

第155期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0.0円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (4,186,220,767円) および分配準備積立金 (606,049円) より分配対象収益は4,186,826,816円 (10,000口当たり1,820円) であり、うち114,995,166円 (10,000口当たり50円) を分配金額としています。

第156期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0.0円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (4,169,895,736円) および分配準備積立金 (748,587円) より分配対象収益は4,170,644,323円 (10,000口当たり1,770円) であり、うち117,778,603円 (10,000口当たり50円) を分配金額としています。

第157期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (19,753,365円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (4,104,348,600円) および分配準備積立金 (745,375円) より分配対象収益は4,124,847,340円 (10,000口当たり1,728円) であり、うち119,293,053円 (10,000口当たり50円) を分配金額としています。

第158期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (46,665,680円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (4,040,310,174円) および分配準備積立金 (1,483,461円) より分配対象収益は4,088,459,315円 (10,000口当たり1,698円) であり、うち120,357,146円 (10,000口当たり50円) を分配金額としています。

第159期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (53,237,629円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (4,003,270,271円) および分配準備積立金 (12,875円) より分配対象収益は4,056,520,775円 (10,000口当たり1,670円) であり、うち121,404,441円 (10,000口当たり50円) を分配金額としています。

第160期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (90,328,124円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (3,959,734,440円) および分配準備積立金 (2,373,196円) より分配対象収益は4,052,435,760円 (10,000口当たり1,657円) であり、うち122,216,136円 (10,000口当たり50円) を分配金額としています。

○分配金のお知らせ

	第155期	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期
1万円当たり分配金（税込み）	50円	50円	50円	50円	50円	50円

◇分配金を再投資される場合のお手取分配金は、自動けいぞく投資約款の規定に基づき、各決算日の翌営業日に再投資いたしました。

◇分配金をお受け取りになる場合の分配金は、各決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始しています。

◇分配金のお取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

(注1) 分配金は、分配後の基準価額と各受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）があります。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額が「普通分配金」となります。分配後の基準価額を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が「元本払戻金（特別分配金）」、残りの部分が「普通分配金」となります。

(注2) 個人の受益者の場合、収益分配金のうち、課税扱いとなる普通分配金については、配当所得として20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率が適用されます。

(注3) 法人の受益者の場合、収益分配金のうち、課税扱いとなる普通分配金については、15.315%（所得税15%および復興特別所得税0.315%）が源泉徴収されます。

(注4) 当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

(注5) 税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

運用報告書

親投資信託

しんきん世界好配当利回り株マザーファンド

第14期

(決算日：2019年5月10日)

しんきん世界好配当利回り株マザーファンドの第14期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	<p>①日本を除く世界各国の配当利回りの高い企業の株式へ分散投資を行うことにより、安定した配当収益の獲得と投資信託財産の成長を目標とします。</p> <p>②運用指図に関する権限は、シュローダー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託します。</p> <p>③株式の銘柄選定にあたっては、銘柄毎の配当利回り・増配期待・流動性に着目しつつ、企業のファンダメンタル分析も勘案して行います。</p> <p>④外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑤株式の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>⑥資金動向および市況動向等に急激な変化が生じたとき等やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができないことがあります。</p>
主要投資対象	日本を除く世界各国の株式を主要投資対象とします。
投資制限	<p>①株式への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>②外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>③新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合には、取得時において投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>④同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額10%以下とします。</p> <p>⑤同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合には、取得時において投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>⑥同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）への投資は、取得時において投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>⑦投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指標※		株式先物比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	円	騰落率	ポイント	騰落率				
10期(2015年5月11日)	19,934	23.7	19,910	25.9	96.7	—	—	10,206
11期(2016年5月10日)	16,045	△19.5	17,314	△13.0	92.7	—	—	8,139
12期(2017年5月10日)	20,408	27.2	21,215	22.5	96.4	—	—	9,513
13期(2018年5月10日)	23,753	16.4	23,339	10.0	79.9	—	—	16,556
14期(2019年5月10日)	22,177	△6.6	24,244	3.9	92.6	—	—	19,854

(注) 株式先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指標※		株式先物比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率
	円	騰落率	ポイント	騰落率			
(期首) 2018年5月10日	23,753	—	23,339	—	79.9	—	—
5月末	22,998	△3.2	22,858	△2.1	92.1	—	—
6月末	23,173	△2.4	23,357	0.1	93.5	—	—
7月末	23,616	△0.6	24,410	4.6	93.1	—	—
8月末	23,350	△1.7	24,514	5.0	93.3	—	—
9月末	24,281	2.2	25,202	8.0	93.2	—	—
10月末	22,132	△6.8	23,234	△0.5	93.4	—	—
11月末	22,201	△6.5	23,671	1.4	91.6	—	—
12月末	20,258	△14.7	21,107	△9.6	95.1	—	—
2019年1月末	21,726	△8.5	22,624	△3.1	95.0	—	—
2月末	22,743	△4.3	23,915	2.5	94.3	—	—
3月末	22,324	△6.0	24,121	3.4	95.7	—	—
4月末	23,011	△3.1	25,168	7.8	93.8	—	—
(期末) 2019年5月10日	22,177	△6.6	24,244	3.9	92.6	—	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 株式先物比率＝買建比率－売建比率。

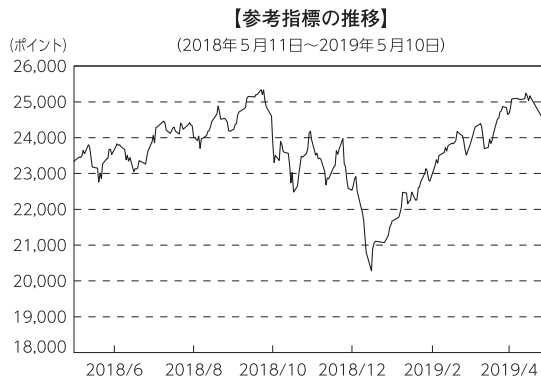
※参考指標はMSCI-KOKUSAI インデックス（除く日本・米ドルベース）を円換算し、2005年11月14日を10,000としてしんきんアセットマネジメント投信が算出したものです。（以下同じ。）

※ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性および完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。

※この情報はMSCIの営業秘密であり、またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

○第14期の運用経過等 (2018年5月11日～2019年5月10日)

<当期中の基準価額等の推移>



当ファンドは、世界の先進国・地域（日本を除く）の株式に投資することにより、安定した配当収益の獲得と投資信託財産の成長を目指して運用を行っています。

当期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

<上昇要因>

- ・米国をはじめとした経済指標や企業業績が底堅かったこと。
- ・米国連邦準備制度理事会（F R B）が、利上げ予想回数を引き下げたこと。
- ・欧州中央銀行（E C B）が、金融政策で引締めの方針から転換したこと。

<下落要因>

- ・米中貿易摩擦の懸念が強まったこと。
- ・イタリアの政治情勢の先行きに不透明感があつたこと。
- ・英国の欧州連合（E U）離脱問題の先行き不透明感が強まったこと。

<投資環境>

(2018年5月～6月)

グローバル株式市場は下落しました。世界貿易において貿易摩擦を招くとの懸念を背景に、投資家のリスク志向が低下したため、上値の重い展開となりました。

市場別に見ると、米国株式市場は下落しました。好調な企業業績が継続したことや、良好な内容の経済指標が支援材料となったものの、米中間の貿易摩擦の懸念が強まったことがマイナス要因となりました。ユーロ圏株式市場は下落しました。イタリアの政治情勢の先行き不透明感や貿易の先行き不透明感の強まりが要因となりました。

(2018年7月～9月)

グローバル株式市場は上昇しました。7月には、企業の決算発表の時期を迎え、多くの地域やセクターの企業が、総じて好調な利益を発表したことが支援材料となりました。

市場別に見ると、米国株式市場は上昇しました。経済成長や企業業績が引き続き非常に堅調であり、これが米中貿易摩擦の激化に係る懸念よりも材料視されました。ユーロ圏株式市場は横ばいとなりました。E C Bが、2019年夏までは現在の水準を維持する方針を示したことが材料視され上昇したものの、イタリアの2019年度予算が、E Uの財政ルールを順守できない可能性があるとの懸念から国債利回りが上昇したことや、これを受けて、新興国へのエクスポージャーを有することに対する懸念が高まったことなどが要因となり、特に銀行銘柄が総じて軟調に推移しました。

(2018年10月～12月)

グローバル株式市場は下落しました。世界的な貿易摩擦や経済減速に対する懸念が強まったことが主な要因となりました。

市場別に見ると、米国株式市場は下落しました。12月の下げ幅が大きく、10～12月期は大幅下落となりました。FRBは、事前予想どおり、12月に利上げを決定しました。情報技術（IT）大手の一部が業績下方修正の見通しを示したことから、米国企業の収益見通しが減速すると不安感をあおり、これが悪材料となりました。ユーロ圏株式市場は下落しました。追加関税の影響を受けた、中国経済の減速に加えて、英国のEU離脱問題の先行き不透明感が強まっていることなどがマイナス要因となりました。ユーロ圏経済の指標が減速を示したことも材料視されました。

(2019年1月～3月)

グローバル株式市場は上昇しました。米中貿易摩擦問題に対する懸念が後退したことや、主要中央銀行が金融政策を緩和的な方針へと転換したことが支援材料となりました。

市場別に見ると、米国株式市場は上昇しました。FRBが、声明でハト派的な姿勢を強めたことや、米中間貿易協議に進展が見られたこと、また、閉鎖されていた政府機関についても再開したことなどが株価の押し上げ要因となりました。ユーロ圏株式市場は上昇しました。中央銀行が金融政策で引締めの方針から転換したことが支援材料となりました。

(2019年4月～5月)

グローバル株式市場は上昇しました。4月は、米中の経済指標の改善を受けて世界経済の減速懸念が後退したことや、米中貿易協議の合意期待などから、堅調な動きとなりました。5月は、米中貿易協議について、米国による中国への追加関税の発動など警戒感が広がる中、軟調な動きとなりました。

市場別に見ると、米国株式市場は上昇しました。堅調な経済指標や企業の好調な業績が上昇要因となりました。ユーロ圏株式市場は上昇しました。経済が予想より回復していることなどから上昇しました。

＜当ファンドのポートフォリオ＞

設定・解約および銘柄の収益見通し、配当方針、株主への利益還元などの要素に加え、株価の割安度合いなどに対する判断結果から、必要に応じて銘柄の加除および入替え等を行った結果、組入銘柄数は期首の51銘柄に対し、期末時点では35銘柄になりました。

(業種構成)

参考指標対比で見た業種別の期中平均組入比率は、下表のとおりです。

業種	種	ポートフォリオ	参考指標	差	異
エネルギー		7.3%	6.8%		0.5%
素材		9.5%	4.6%		4.9%
資本財・サービス		2.8%	10.3%		△ 7.5%
一般消費財・サービス		4.6%	9.8%		△ 5.1%
生活必需品		7.5%	8.3%		△ 0.8%
ヘルスケア		6.4%	13.1%		△ 6.7%
金融		34.0%	16.9%		17.1%
不動産		0.0%	3.0%		△ 3.0%
情報技術		12.9%	15.8%		△ 2.9%
コミュニケーション・サービス		10.5%	8.3%		2.2%
公益事業		4.6%	3.3%		1.4%

※比率は株式部分のみを計算。計算にはBloombergを使用

当期を平均すると「金融」、「素材」などの業種を参考指標と比較して高位に組み入れ、「ヘルスケア」、「資本財・サービス」などの業種を低位に組み入れました。

「公益事業」、「金融」のオーバーウェイトが、ポートフォリオ（米ドルベース）の騰落率に対して主なマイナス要因になりました。

(国別構成)

参考指標対比で見た国別の期中平均組入比率は、下表のとおりです。

地域	国名	ポートフォリオ	参考指標	差異
北米地域	カナダ	0.2%	3.7%	△ 3.5%
	アメリカ	27.1%	67.4%	△40.3%
欧州地域	オーストリア	0.0%	0.1%	△ 0.1%
	ベルギー	4.4%	0.4%	4.0%
	デンマーク	0.0%	0.7%	△ 0.7%
	フィンランド	0.0%	0.4%	△ 0.4%
	フランス	11.9%	4.2%	7.7%
	ドイツ	0.6%	3.5%	△ 2.9%
	アイルランド	0.0%	0.2%	△ 0.2%
	イタリア	7.8%	0.9%	6.9%
	オランダ	1.0%	1.3%	△ 0.4%
	ノルウェー	0.1%	0.3%	△ 0.2%
	ポルトガル	0.0%	0.1%	△ 0.1%
	スペイン	2.6%	1.2%	1.5%
	スウェーデン	0.0%	1.0%	△ 1.0%
	スイス	0.3%	3.2%	△ 2.9%
イスラエル	0.0%	0.2%	△ 0.2%	
アジア・パシフィック地域	イギリス	38.1%	6.6%	31.5%
	オーストラリア	5.1%	2.6%	2.5%
	香港	0.8%	1.4%	△ 0.6%
	ニュージーランド	0.0%	0.1%	△ 0.1%
	シンガポール	0.0%	0.5%	△ 0.5%

※比率は株式部分のみを計算。計算にはBloombergを使用。

当期を平均すると、「イギリス」、「フランス」などの国を参考指標と比較して高位に組み入れ、「アメリカ」、「カナダ」などの国を低位に組み入れました。

「ドイツ」のアンダーウェイトや「ベルギー」のオーバーウェイトが、ポートフォリオ（米ドルベース）の騰落率に対し主なプラス要因になったほか、「アメリカ」のアンダーウェイト、「イギリス」のオーバーウェイトが、主なマイナス要因になりました。

<当ファンドのベンチマークとの差異>

当ファンドは、世界の先進国・地域（日本を除く）の株式に投資することにより、安定した配当収益の獲得と投資信託財産の成長を目指していますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークはありません。

当期の基準価額の騰落率は△6.6%となり、同期間の参考指標の騰落率+3.9%を10.5ポイント下回りました。

<今後の運用方針>

引き続き、経営力に秀で、質の高い、収益見通しのより明瞭な銘柄の発掘に注力し、特に明確な配当方針を持つ企業や、株主への利益還元真剣に取り組む姿勢を明らかにしている企業を選好して投資するとともに、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

また、株式組入比率は、原則として高位を保つこととし、銘柄の加除および入替え等が必要な場合は随時行っていきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年 5 月11日～2019年 5 月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 9 (9)	% 0.040 (0.040)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	44 (44)	0.195 (0.195)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	9 (9) (0)	0.038 (0.038) (0.000)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	62	0.273	
期中の平均基準価額は、22,651円です。			

(注 1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注 2) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第 3 位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2018年5月11日～2019年5月10日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 6,478	千ドル 28,114	百株 6,576	千ドル 24,643
	カナダ	—	千カナダドル —	6	千カナダドル 392
	ユーロ	—	千ユーロ —	—	千ユーロ —
	ドイツ	6	33	585 (—)	847 (38)
	イタリア	23,217 (427)	12,246 (110)	2,045 (411)	1,813 (110)
	フランス	7,807	17,869	2,393	10,342
	オランダ	1,707	1,890	185	923
	スペイン	3,382 (2,721)	5,467 (123)	2,721 (—)	108 (123)
	ベルギー	884	3,872	690	3,081
	国	イギリス	115,220	千ポンド 37,643	39,800
スイス		—	千スイスフラン —	102	千スイスフラン 906
ノルウェー		—	千ノルウェークローネ —	166	千ノルウェークローネ 2,526
オーストラリア		16,873	千オーストラリアドル 6,251	4,741	千オーストラリアドル 1,724
香港		2,860	千香港ドル 4,249	27,700	千香港ドル 23,159

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

○株式売買比率

(2018年5月11日～2019年5月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	21,780,137千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	16,831,119千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.29

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年5月11日～2019年5月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年5月10日現在)

外国株式

銘柄	株数	当 期		業 種 等		
		株 数	評 価 額			
					外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	百株	百株	千ドル	千円		
APPLE INC	33	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	830	1,972	10,027	1,101,636	保険	
BUCKLE INC/THE	1,073	1,406	2,641	290,205	小売	
CITIGROUP INC	—	366	2,475	271,946	銀行	
CISCO SYSTEMS INC	1,567	1,380	7,304	802,512	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
FAIRFAX INDIA HO-SUB VTG SHS	167	73	98	10,866	各種金融	
FIRST SOLAR INC	52	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
GRAHAM HOLDINGS CO-CLASS B	4	—	—	—	消費者サービス	
GAP INC/THE	950	—	—	—	小売	
HARLEY-DAVIDSON INC	25	—	—	—	自動車・自動車部品	
INTL BUSINESS MACHINES CORP	263	331	4,485	492,829	ソフトウェア・サービス	
INTEL CORP	627	1,642	7,658	841,367	半導体・半導体製造装置	
JPMORGAN CHASE & CO	110	—	—	—	銀行	
MICHAEL KORS HOLDINGS LTD	91	—	—	—	耐久消費財・アパレル	
KOHL'S CORP	96	—	—	—	小売	
ELI LILLY & CO	144	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
LEUCADIA NATIONAL CORP	941	—	—	—	各種金融	
MATTEL INC	920	—	—	—	耐久消費財・アパレル	
MERCK & CO. INC.	164	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
MICROSOFT CORP	124	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
OMNICOM GROUP	341	749	5,939	652,538	メディア・娯楽	
VISHAY INTERTECHNOLOGY INC	1,267	406	726	79,766	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
WELLS FARGO & CO	210	154	723	79,436	銀行	
WESTERN UNION CO	—	1,430	2,745	301,648	ソフトウェア・サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額	10,011	9,913	44,827	4,924,755	
	銘柄 数 < 比 率 >	22	11	—	<24.8%>	
(カナダ)				千カナダドル		
FAIRFAX FINANCIAL HLDGS LTD	6	—	—	—	保険	
小 計	株 数 ・ 金 額	6	—	—	—	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	—	—	<—%>	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
DAIMLER AG-REGISTERED SHARES	69	76	423	52,183	自動車・自動車部品	
DEUTSCHE TELEKOM AG-REG	585	—	—	—	電気通信サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額	654	76	423	52,183	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	1	—	<0.3%>	

しんきん世界好配当利回り株マザーファンド - 第 14 期 -

銘柄	株数	当 期		業 種 等	
		株数	価 値		
		株数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…イタリア)	百株	百株	千ユーロ	千円	
ENI SPA	3,211	4,966	7,113	876,914	エネルギー
INTESA SANPAOLOA	—	16,598	3,592	442,865	銀行
UNICREDIT SPA	—	2,834	3,153	388,792	銀行
小 計	株数・金額	3,211	24,399	13,860	1,708,572
	銘柄数<比率>	1	3	—	<8.6%>
(ユーロ…フランス)					
ALSTOM	762	—	—	—	資本財
BNP PARIBAS	616	731	3,324	409,829	銀行
COFACE SA	1,481	2,956	2,662	328,166	保険
SANOFI	176	946	6,943	855,962	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
COMPAGNIE DE SAINT GOBAIN	139	—	—	—	資本財
TELEVISION FRANCAISE (T.F.1)	—	3,958	3,811	469,875	メディア・娯楽
小 計	株数・金額	3,177	8,592	16,742	2,063,834
	銘柄数<比率>	5	4	—	<10.4%>
(ユーロ…オランダ)					
ING GROEP NV	—	1,707	1,781	219,554	銀行
WOLTERS KLUWER	185	—	—	—	商業・専門サービス
小 計	株数・金額	185	1,707	1,781	219,554
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.1%>
(ユーロ…スペイン)					
REPSOL SA	—	3,382	4,826	594,916	エネルギー
小 計	株数・金額	—	3,382	4,826	594,916
	銘柄数<比率>	—	1	—	<3.0%>
(ユーロ…ベルギー)					
AGEAS	1,073	1,266	5,742	707,899	保険
小 計	株数・金額	1,073	1,266	5,742	707,899
	銘柄数<比率>	1	1	—	<3.6%>
ユ ー ロ 計	株数・金額	8,302	39,424	43,376	5,346,961
	銘柄数<比率>	10	11	—	<26.9%>
(イギリス)					
ANGLO AMERICAN PLC	1,325	3,308	6,281	897,172	素材
BARCLAYS PLC	—	9,199	1,443	206,115	銀行
CENTRICA PLC	21,508	48,610	4,579	654,028	公益事業
DIRECT LINE INSURANCE GROUP	1,360	—	—	—	保険
FERREXPO PLC	4,764	—	—	—	素材
GLAXOSMITHKLINE PLC	68	1,050	1,594	227,714	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
HSBC HOLDINGS PLC	4,503	9,657	6,295	899,212	銀行
LEGAL & GENERAL GROUP PLC	9,924	8,543	2,311	330,214	保険
WM MORRISON SUPERMARKETS	18,621	28,476	6,028	861,057	食品・生活必需品小売り
PEARSON PLC	4,978	7,068	5,688	812,536	メディア・娯楽
ROYAL BANK OF SCOTLAND GROUP	—	20,075	4,661	665,817	銀行
STANDARD CHARTERED PLC	4,296	10,353	7,036	1,004,954	銀行
TESCO PLC	14,540	14,809	3,563	508,942	食品・生活必需品小売り
WPP PLC	1,426	1,583	1,520	217,112	メディア・娯楽
小 計	株数・金額	87,317	162,737	51,003	7,284,880
	銘柄数<比率>	12	12	—	<36.7%>
(スイス)					
NOVARTIS AG-REG	102	—	千スイスフラン	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小 計	株数・金額	102	—	—	—
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>

しんきん世界好配当利回り株マザーファンド－第14期－

銘柄	株数	株数	当期末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(ノルウェー)	百株	百株	千ノルウェークローネ	千円	銀行
DNB ASA	166	—	—	—	
小計	166	—	—	—	
	株数・金額 銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>
(オーストラリア)			千オーストラリアドル		素材
SOUTH32 LTD	20,490	32,621	10,699	822,607	
小計	20,490	32,621	10,699	822,607	
	株数・金額 銘柄数<比率>	1	1	—	<4.1%>
(香港)			千香港ドル		耐久消費財・アパレル 小売 資本財
LI & FUNG LTD	14,120	—	—	—	
LUK FOOK HOLDINGS INTL LTD	780	—	—	—	
NWS HOLDINGS LTD	9,940	—	—	—	
小計	24,840	—	—	—	
	株数・金額 銘柄数<比率>	3	—	—	<—%>
合計	151,237	244,697	—	18,379,204	
	株数・金額 銘柄数<比率>	51	35	—	<92.6%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注4) 一印は組み入れなし。

○投資信託財産の構成

(2019年5月10日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 18,379,204	% 92.3
コール・ローン等、その他	1,539,022	7.7
投資信託財産総額	19,918,226	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(19,559,830千円)の投資信託財産総額(19,918,226千円)に対する比率は98.2%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2019年5月10日現在、1ドル=109.86円、1ユーロ=123.27円、1ポンド=142.83円、1オーストラリアドル=76.88円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年5月10日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	19,918,226,155	
コール・ローン等	1,394,633,332	
株式(評価額)	18,379,204,709	
未収配当金	144,388,114	
(B) 負債	64,003,656	
未払解約金	64,000,000	
未払利息	883	
その他未払費用	2,773	
(C) 純資産総額(A-B)	19,854,222,499	
元本	8,952,469,312	
次期繰越損益金	10,901,753,187	
(D) 受益権総口数	8,952,469,312口	
1万口当たり基準価額(C/D)	22,177円	

(注1) 当親投資信託の期首元本額は6,970,102,714円、期中追加設定元本額は3,900,513,058円、期中一部解約元本額は1,918,146,460円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額は、しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)6,236,052,957円、しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)1,153,271,557円、しんきん世界アロケーションファンド780,416,307円、しんきん世界アロケーションファンド(積極型)613,594,225円、SKAM世界アロケーション安定型(年金)(適格機関投資家限定)116,458,079円、しんきん世界好配当利回り株ファンド(1年決算型)52,676,187円です。

(注3) 1口当たり純資産額は2,2177円です。

○損益の状況 (2018年5月11日~2019年5月10日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	713,308,803	
受取配当金	707,664,705	
その他収益金	5,849,972	
支払利息	△ 205,874	
(B) 有価証券売買損益	△ 2,035,062,182	
売買益	744,733,067	
売買損	△ 2,779,795,249	
(C) 保管費用等	△ 6,874,537	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,328,627,916	
(E) 前期繰越損益金	9,585,986,194	
(F) 追加信託差損益金	5,077,476,942	
(G) 解約差損益金	△ 2,433,082,033	
(H) 計(D+E+F+G)	10,901,753,187	
次期繰越損益金(H)	10,901,753,187	

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。